

消化器・肝臓センター



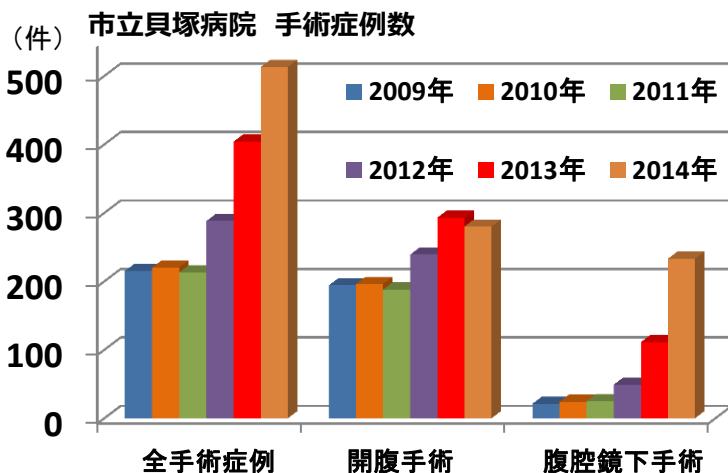
NEW-す NO.11



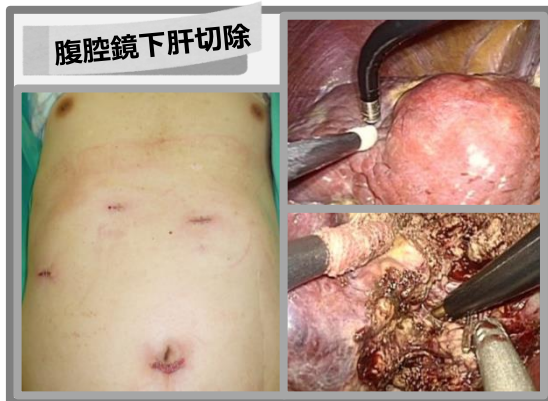
2016.5

腹腔鏡下肝切除が本年4月から適応拡大されます

市立貝塚病院では2012年以降、手術症例・特に腹腔鏡下手術が飛躍的に増加し、2013年4月以降、腹腔鏡下肝切除術を導入して現在まで40名の患者様に実施してまいりました。



腹腔鏡下肝切除術は写真に示す通り開腹肝切除術に比較して手術創部が非常に小さく術後の疼痛が少ないのが特徴で早期に社会復帰できるのが特徴です。



また肝細胞癌の患者様は手術をはじめラジオ波焼灼術（RFA）・肝動脈カテーテル塞栓術（TACE）・経皮経肝エタノール注入療法

（PEIT）など繰り返し治療が必要です。局所制御にすぐれ、開腹術より一回の治療の負担が軽い腹腔鏡下肝切除は大きなメリットがあります。これまで部分切除と外側区域切除と術式に限定されていた腹腔鏡下肝切除は安全性と低侵襲性が認められ平成28年4月から亜区域除・区域切除・葉切除・拡大葉切除まで適応拡大されほぼすべての肝切除が腹腔鏡下で実施できるようになります。

2010年度 腹腔鏡下肝切除

- 部分切除
- 外側区域切除



2016年度 腹腔鏡下肝切除

- 部分切除
- 外側区域切除
- 亜区域切除
- 1区域切除（外側区域を除く）
- 2区域切除
- 3区域切除以上のもの

当院消化器・肝臓センターでは腹腔鏡下肝切除をはじめ消化器・肝臓疾患に対する専門的治療を幅広く実践しています。何かお困りの場合はお気軽に当院へご相談下さい。

外科 金 鏞国

